

長崎県内の肺がん検診の実績について

2026.2.19

長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会肺がん委員会

●実績データについて

厚生労働省(令和7年3月公表)

「令和5年度 地域保健・健康増進事業報告」より集計

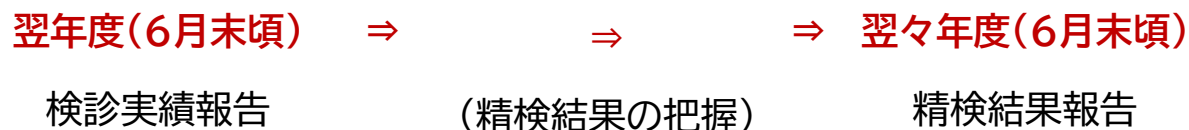
プロセス指標	参照年度(最新)
受診率	令和5年度
要精検率 精検受診率 陽性反応適中度 がん発見率	令和4年度

※「地域保健・健康増進事業報告」は、地域(市区町村)で実施された事業報告のため、職域で実施された検診(人間ドック含む)は含まない。

※集計年齢は、公表値に準じて「40～69歳」とする。

ただし、長崎県内では70歳以上の受診者数が多いため、一部参照データとして示す。

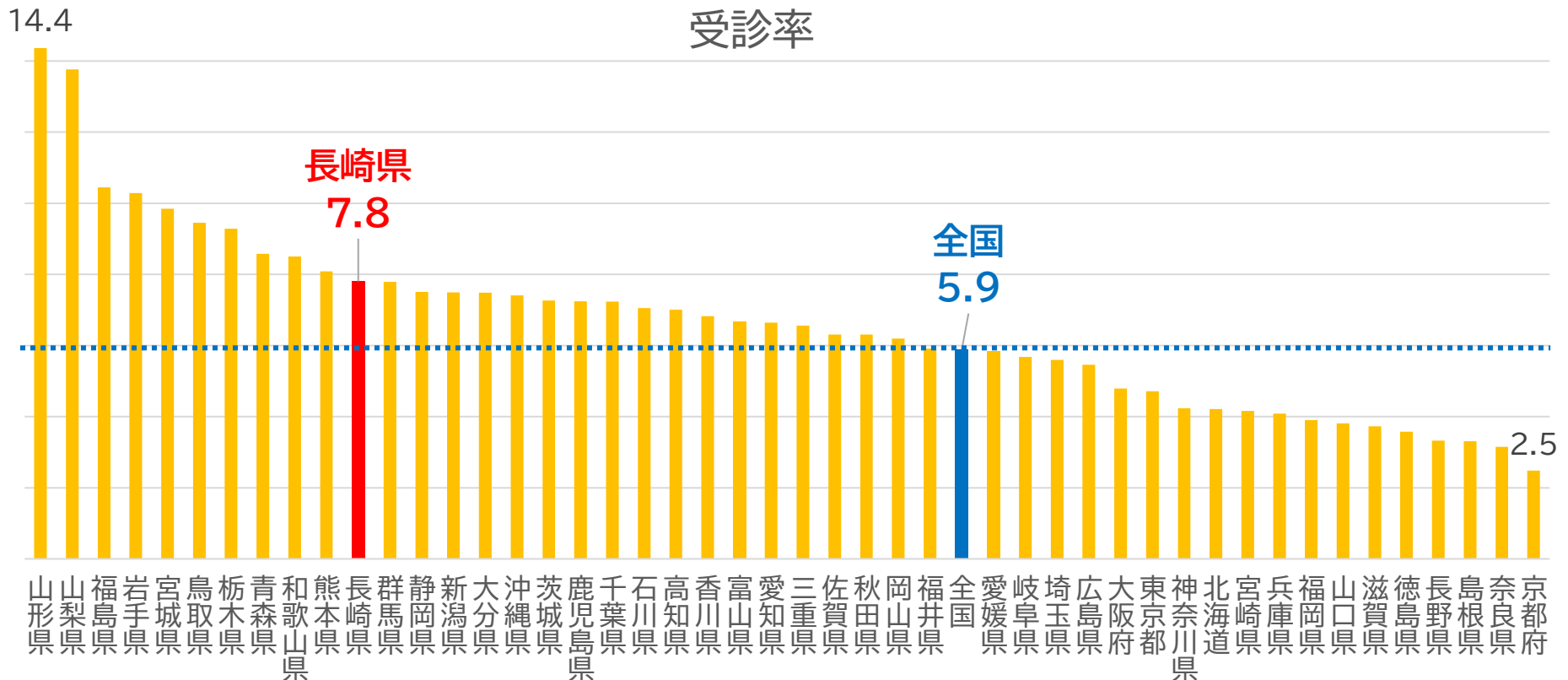
◆地域保健・健康増進事業報告の流れ



▶ 1.肺がん検診受診率の状況

1) 全国順位

地域保健・健康増進事業報告(厚労省)公表値によると、
令和5年度(長崎県)は7.8%で、全国平均5.9%を上回り、全国11位。



2) 年次推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	16.1	11.2	7.7	7.4	7.1	6.8	5.5	6.0	6.0	5.9
長崎	20.8	18.0	9.6	9.5	9.2	8.8	6.9	7.7	7.8	7.8

算出年齢: ← 40～69歳(～H24までは「40歳以上」)

対象者: ← 「就業者数」を除外しない

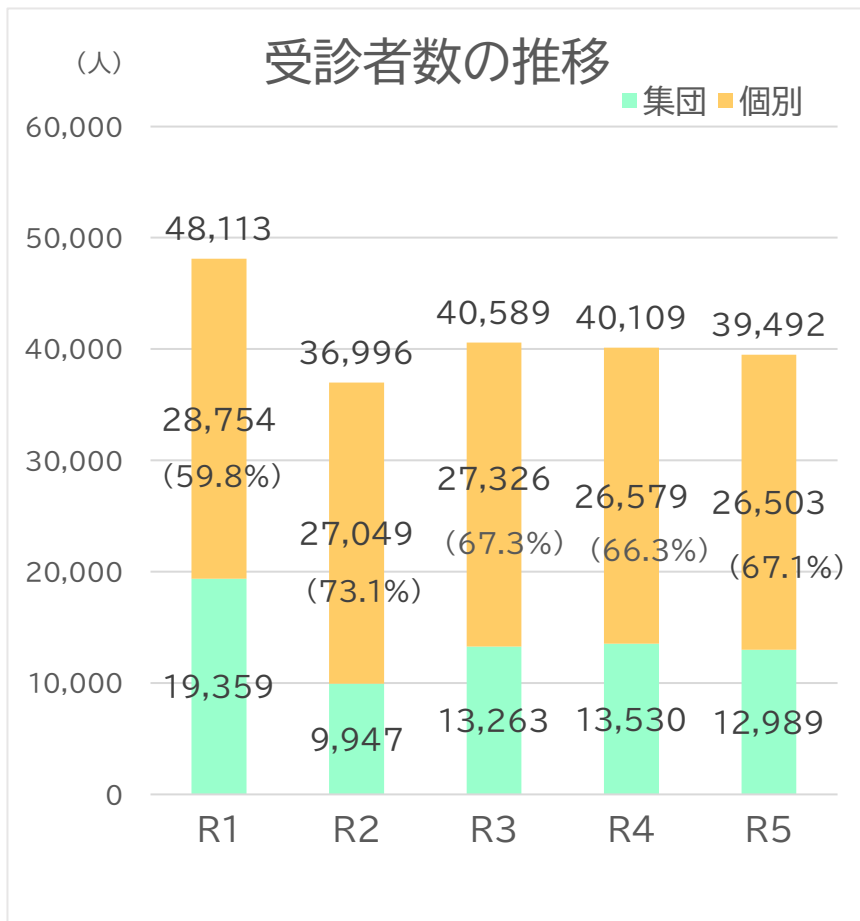
※算出年齢、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※受診率が比較可能なH28以降で比較すると、全国・長崎ともに年々減少傾向。R2に低下していたが、R3以降は横ばいである。

▶ 2. 肺がん検診受診者数と受診率 (40～69歳)

1) 受診者数の推移

- ▶ 受診者数は、年々減少している。
R2年度は減少し、R3年度は増加したものの、その後はほぼ横ばいである。



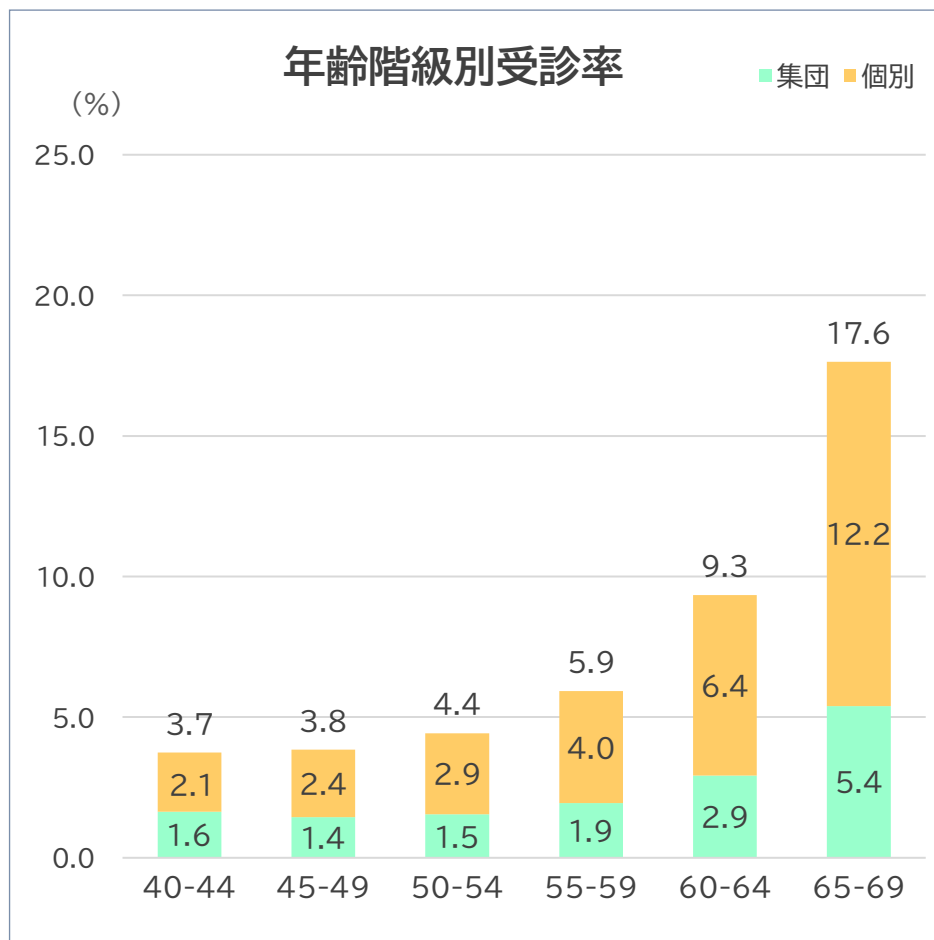
(40-69歳)		R1	R2	R3	R4	R5	喀痰細胞診(R5)
集団	男	7,449	3,729	4,908	5,013	4,903	372
	女	11,910	6,281	8,355	8,517	8,086	29
	計	19,359	9,947	13,263	13,530	12,989	401
個別	男	10,774	10,138	10,062	9,890	9,861	245
	女	17,980	16,911	17,264	16,689	16,642	22
	計	28,754	27,049	27,326	26,579	26,503	267
合計	男	18,223	13,867	14,970	14,903	14,764	617
	女	29,890	23,129	25,619	25,206	24,728	51
	計	48,113	36,996	40,589	40,109	39,492	668

【参考】

全年齢	R1	R2	R3	R4	R5	喀痰細胞診(R5)
	107,485	85,377	93,511	96,037	98,163	1686

2) 令和5年度年齢階級別受診率

- ▶ 受診率は、年齢階級が高くなるにつれ、集団・個別検診ともに高くなる傾向がみられ、65-69歳代で大きく増加している。



年齢階級	対象者数	区分	受診者数	受診率
40-44歳	72,812	集団	1,193	1.6
		個別	1,532	2.1
		計	2,725	3.7
45-49歳	82,693	集団	1,193	1.4
		個別	1,982	2.4
		計	3,175	3.8
50-54歳	86,825	集団	1,339	1.5
		個別	2,504	2.9
		計	3,843	4.4
55-59歳	81,504	集団	1,586	1.9
		個別	3,245	4.0
		計	4,831	5.9
60-64歳	87,451	集団	2,559	2.9
		個別	5,613	6.4
		計	8,172	9.3
65-69歳	94,950	集団	5,119	5.4
		個別	11,627	12.2
		計	16,746	17.6

地域保健・健康増進報告(厚労省)

▶ 3.令和4年度肺がん検診成績（40～69歳）

1) 令和4年度肺がん検診成績

	区分	性別	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数					陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	I期臨床病期 がん割合 H/G
						あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	I期臨床病期 H	がん疑い及び 未確定 I	がん以外の疾患 J			
長崎県	集団	男	5,030	70	1.4	62	88.6	3	4.3	5	7.1	19	6	3	1	36	8.57	0.12	50.0
		女	8,547	110	1.3	101	91.8	2	1.8	7	6.4	25	4	1	0	72	3.64	0.05	25.0
		計	13,577	180	1.3	163	90.6	5	2.8	12	6.7	44	10	4	1	108	5.56	0.07	40.0
	個別	男	9,931	268	2.7	242	90.3	13	4.9	13	4.9	105	10	3	17	110	3.73	0.10	30.0
		女	16,763	327	2.0	304	93.0	10	3.1	13	4.0	148	3	1	17	136	0.92	0.02	33.3
		計	26,694	595	2.2	546	91.8	23	3.9	26	4.4	253	13	4	34	246	2.18	0.05	30.8
	合計	男	14,961	338	2.3	304	89.9	16	4.7	18	5.3	124	16	6	18	146	4.73	0.11	37.5
		女	25,310	437	1.7	405	92.7	12	2.7	20	4.6	173	7	2	17	208	1.60	0.03	28.6
		計	40,271	775	1.9	709	91.5	28	3.6	38	4.9	297	23	8	35	354	2.97	0.06	34.8

【参考】

70歳以上	男	23,084	713	3.1	622	87.2	50	7.0	41	5.8	219	33	12	43	327	4.63	0.14	36.4
	女	32,990	859	2.6	783	91.2	42	4.9	34	4.0	294	23	10	69	397	2.68	0.07	43.5
	計	56,074	1,572	2.8	1,405	89.4	92	5.9	75	4.8	513	56	22	112	724	3.56	0.10	39.3

2) 令和4年度喀痰細胞診成績

※喀痰対象は50歳以上

区分	性別	喀痰容器配布数 A	喀痰提出者 (受診者数) B	要精検者数 C	要精検率 C/B	精検受診						精検結果別人数					陽性反応適中度 H/C	がん発見率 H/B	I期がん割合 I/H		
						あり D	精検受診率 D/C	なし E	精検未受診率 E/C	未把握 F	精検未把握率 F/C	異常なし G	がん H	I期がん 臨床病期 I	がん疑い及び 未確定 J	がん以外の疾患 K					
長崎県	集団	男	405	354	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	33	28	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	438	382	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	個別	男	232	223	1	0.4	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	21	21	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	253	244	1	0.4	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	合計	男	637	577	1	0.2	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	54	49	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	691	626	1	0.2	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0

【参考】

70歳以上	男	890	821	5	0.6	4	80.0	0	0.0	1	20.0	2	1	0	0	1	20.00	0.12	0.0
	女	33	33	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	計	923	854	5	0.6	4	80.0	0	0.0	1	20.0	2	1	0	0	1	20.00	0.12	0.0

地域保健・健康増進報告(厚労省)

3) 令和4年度肺がん検診成績(初回受診者の成績) (再掲)

区分	性別	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	I期臨床病期 がん割合 H/G
					あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	I期がん 臨床病期 H	がん疑い及び 未確定 I	がん以外の疾患 J				
長崎県	集団	男	2,280	43	1.9	37	86.0	3	7.0	3	7.0	12	4	2	0	21	9.30	0.18	50.0
		女	3,733	56	1.5	51	91.1	1	1.8	4	7.1	12	4	1	0	35	7.14	0.11	25.0
		計	6,013	99	1.6	88	88.9	4	4.0	7	7.1	24	8	3	0	56	8.08	0.13	37.5
	個別	男	4,340	141	3.2	132	93.6	4	2.8	5	3.5	53	7	3	10	62	4.96	0.16	42.9
		女	6,860	166	2.4	154	92.8	6	3.6	6	3.6	71	3	1	7	73	1.81	0.04	33.3
		計	11,200	307	2.7	286	93.2	10	3.3	11	3.6	124	10	4	17	135	3.26	0.09	40.0
	合計	男	6,620	184	2.8	169	91.8	7	3.8	8	4.3	65	11	5	10	83	5.98	0.17	45.5
		女	10,593	222	2.1	205	92.3	7	3.2	10	4.5	83	7	2	7	108	3.15	0.07	28.6
		計	17,213	406	2.4	374	92.1	14	3.4	18	4.4	148	18	7	17	191	4.43	0.10	38.9

【参考】

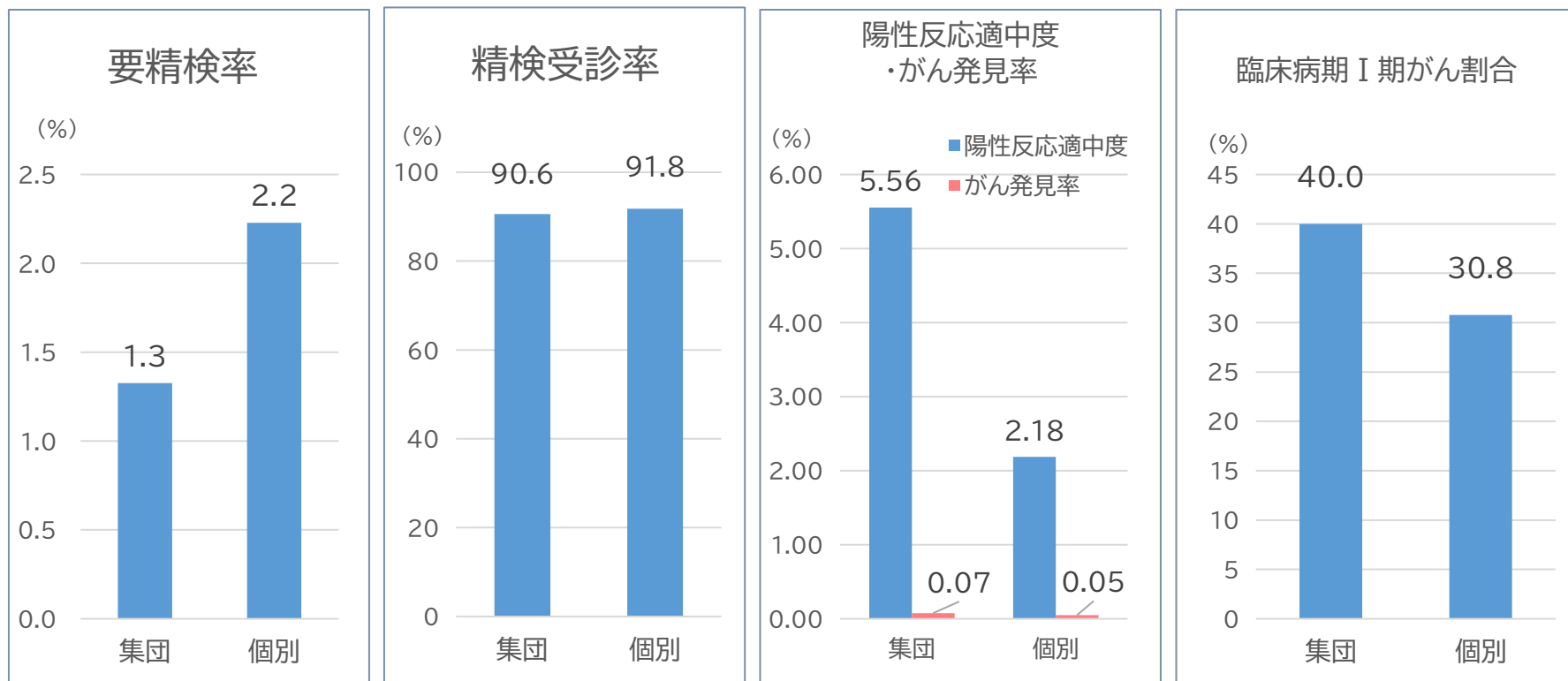
70歳以上	男	7,173	304	4.2	262	86.2	19	6.3	23	7.6	92	14	4	13	143	4.61	0.20	28.6
	女	10,055	368	3.7	328	89.1	22	6.0	18	4.9	120	12	5	31	165	3.26	0.12	41.7
	計	17,228	672	3.9	590	87.8	41	6.1	41	6.1	212	26	9	44	308	3.87	0.15	34.6

4) 令和4年度プロセス指標の検診形態別(集団・個別)の比較

▶ 要精検率は、集団より個別が高かった。

陽性反応適中度は、個別検診より集団検診が高かった。

臨床病期Ⅰ期がん割合は、個別検診より集団検診が高かった。

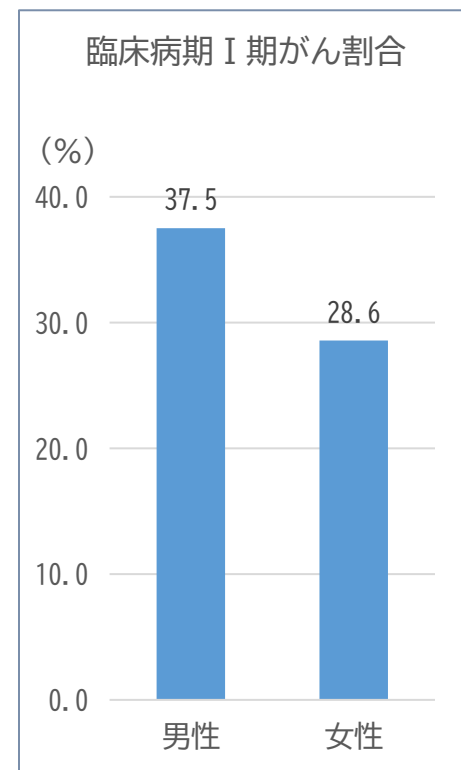
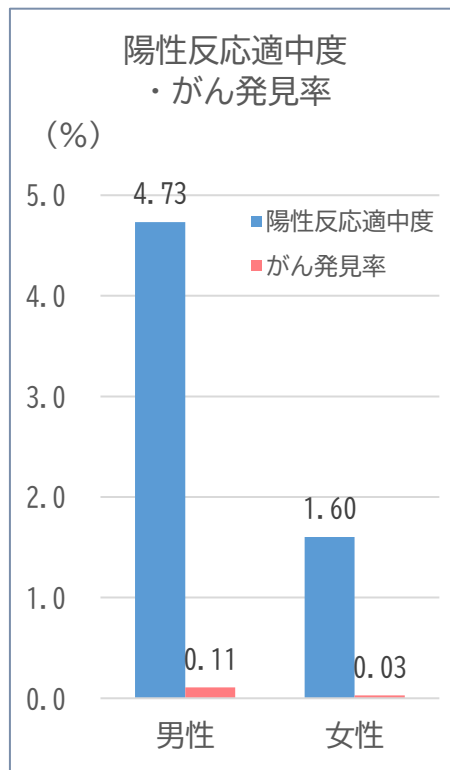
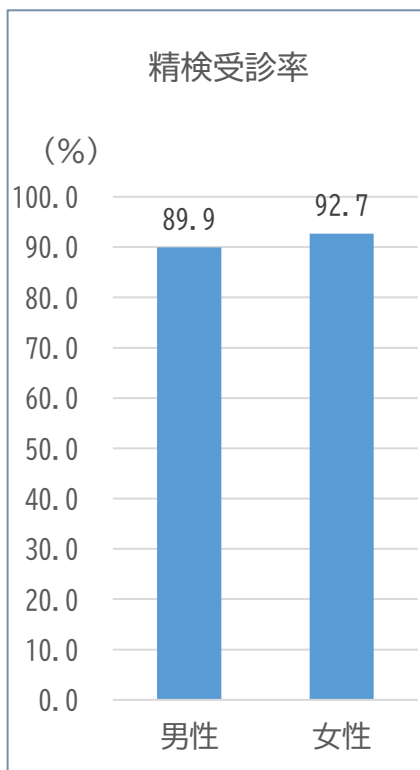
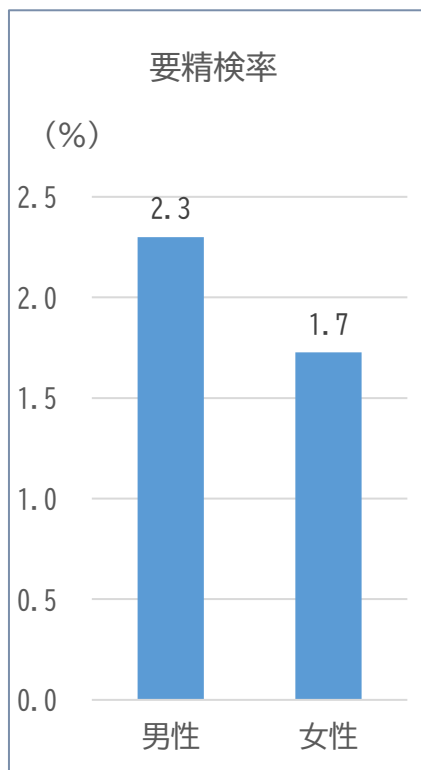


5) 令和4年度プロセス指標の男女別の比較

▶ 要精検率は、女性より男性が高かった。

精検受診率は、男性よりも女性がやや高かった。

陽性反応適中度・がん発見率・発見がんに占める臨床病期 I 期がんの割合は、女性よりも男性が高い傾向にあった。

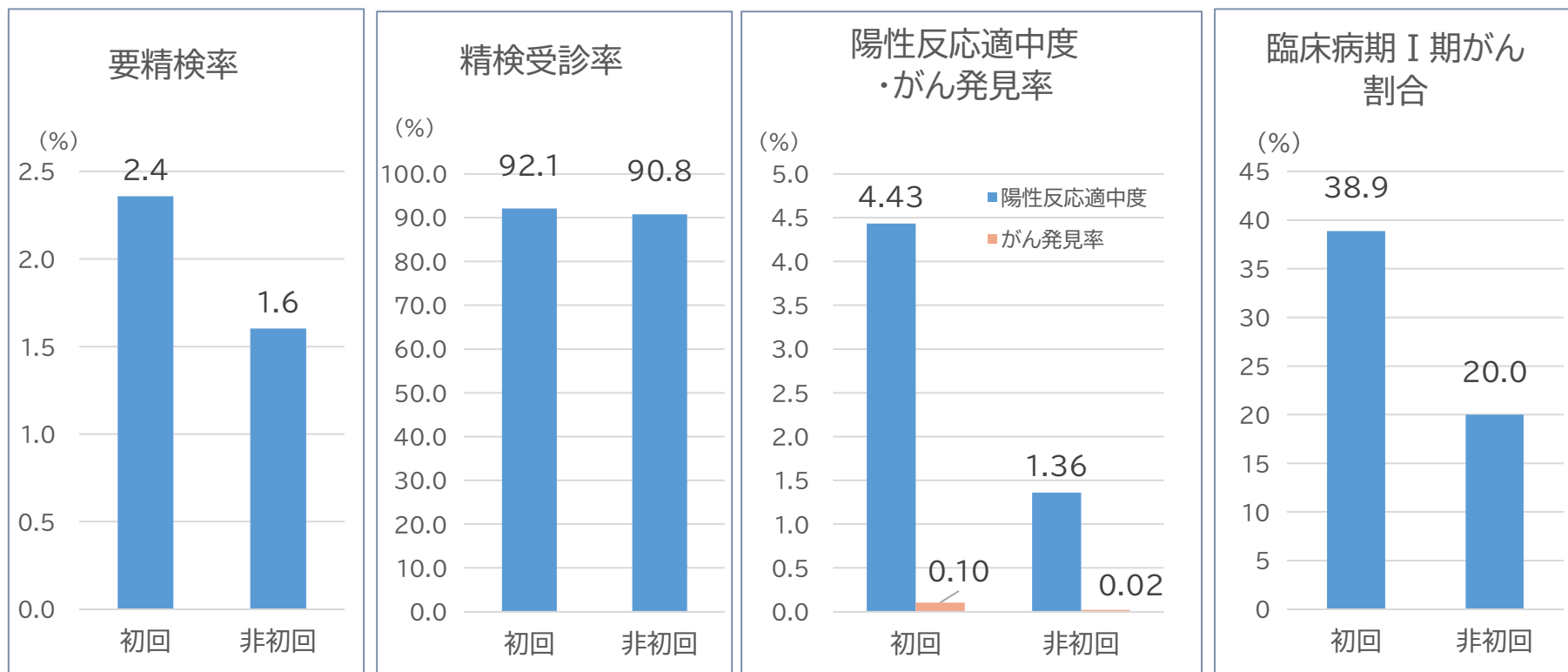


6) プロセス指標の受診歴別(初回・非初回)の比較

▶ 要精検率は、非初回より初回が高かった。

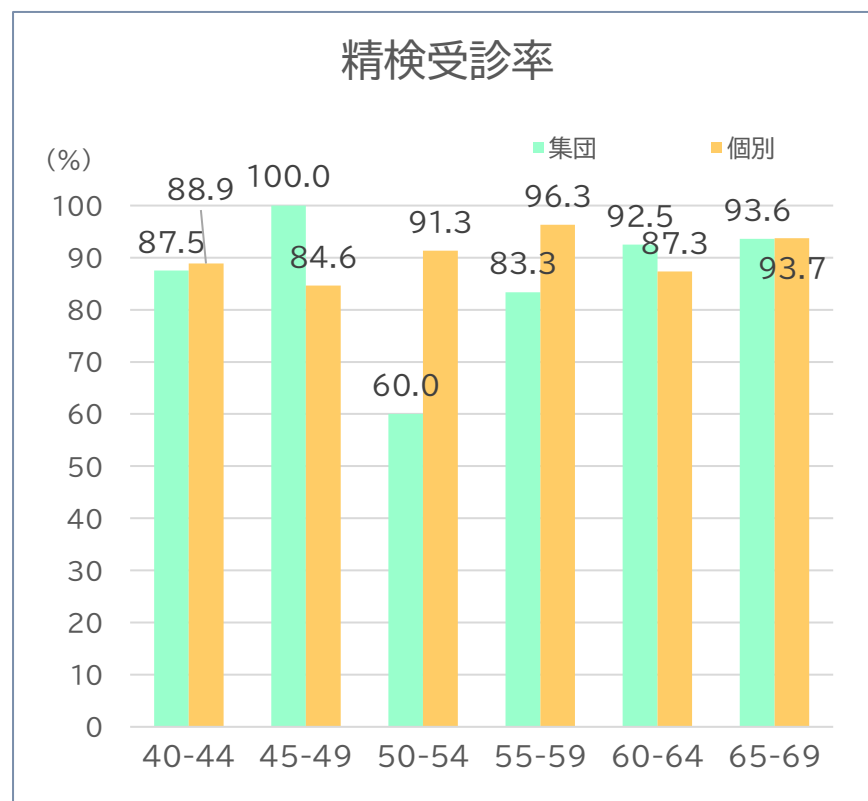
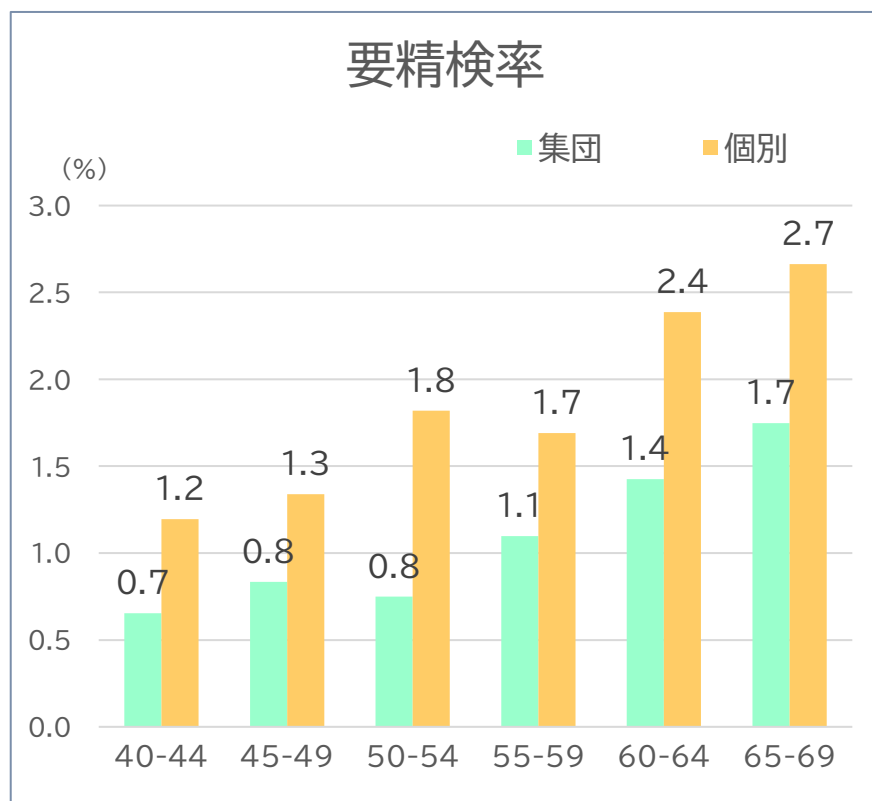
精検受診率は、初回よりも非初回がやや高かった。

陽性反応適中度・がん発見率・発見がんに占める臨床病期 I 期がんの割合は、非初回よりも初回が高かった。

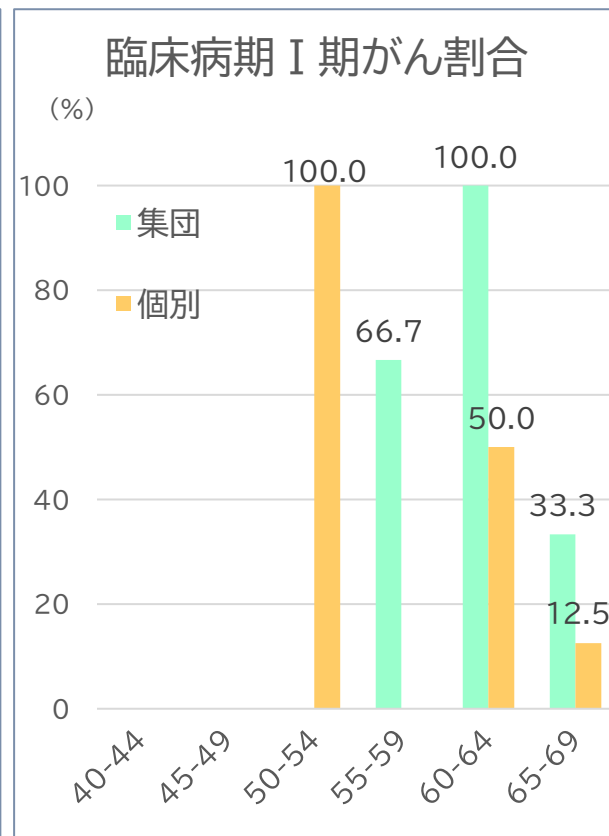
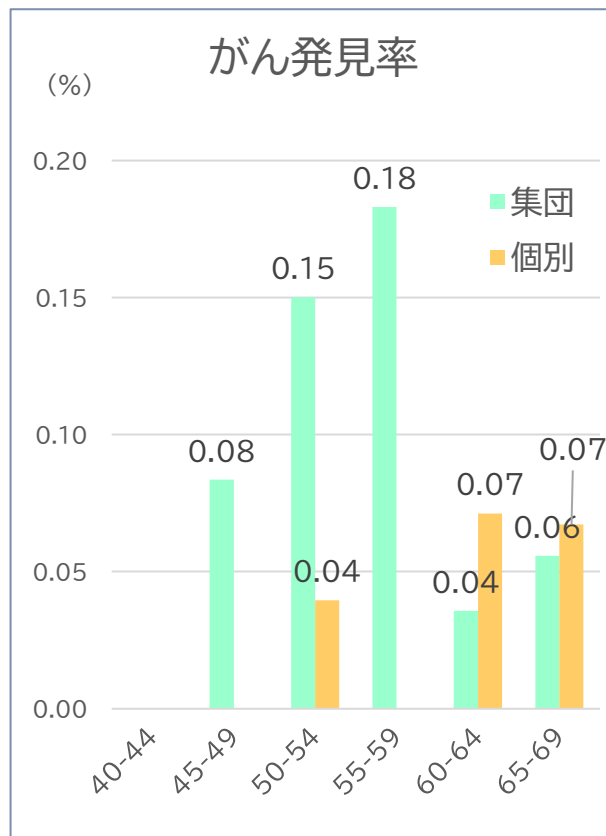
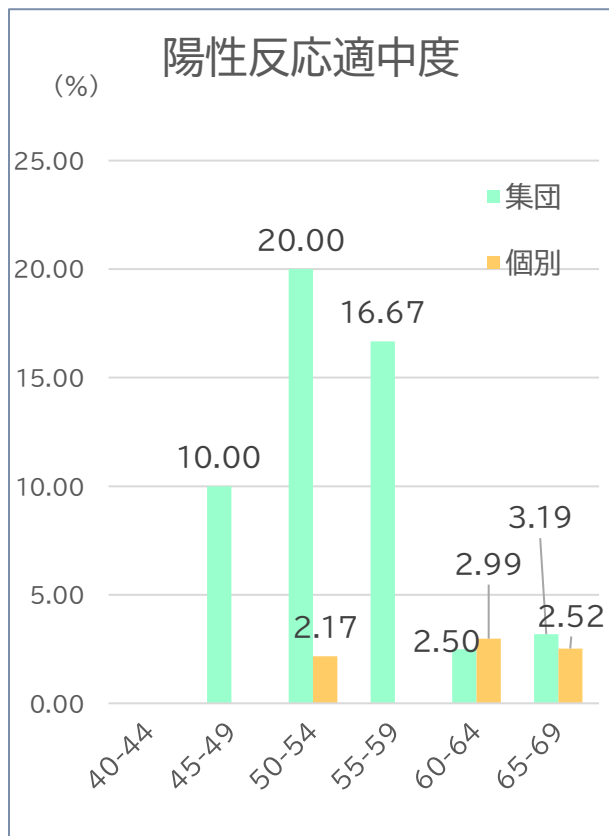


7) 年齢階級別の比較

- ▶ 要精検率は、年齢が上昇するにつれて高くなる傾向にあり、個別検診は全年齢で集団よりも高かった。
- ・精検受診率は、年齢階級によりばらつきがあり、90%を下回る年齢階級もあった。



・陽性反応適中度・がん発見率は、50～59歳で高く、60歳代では低くなっていた。



▶4.国の示す許容値及び目標値

平成20年に設定
令和5年6月改訂により新基準値へ変更

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2年間隔	1年間隔		検診以外 の受診を 考慮	連続受診 を考慮					
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
	現在の許容値 11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
	現在の許容値 0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
	現在の許容値 1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**				肺がん指標		30%		40%		

*子宮頸がんはCIN3以上に対する値

**国民生活基礎調査から算出したおおよその現状の値

▶5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1) 令和5年度市町別受診率

・受診者数／対象者数

・目的:がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。
受診率は高いことが望ましい。

・目標値:50%以上(第3期がん計画)

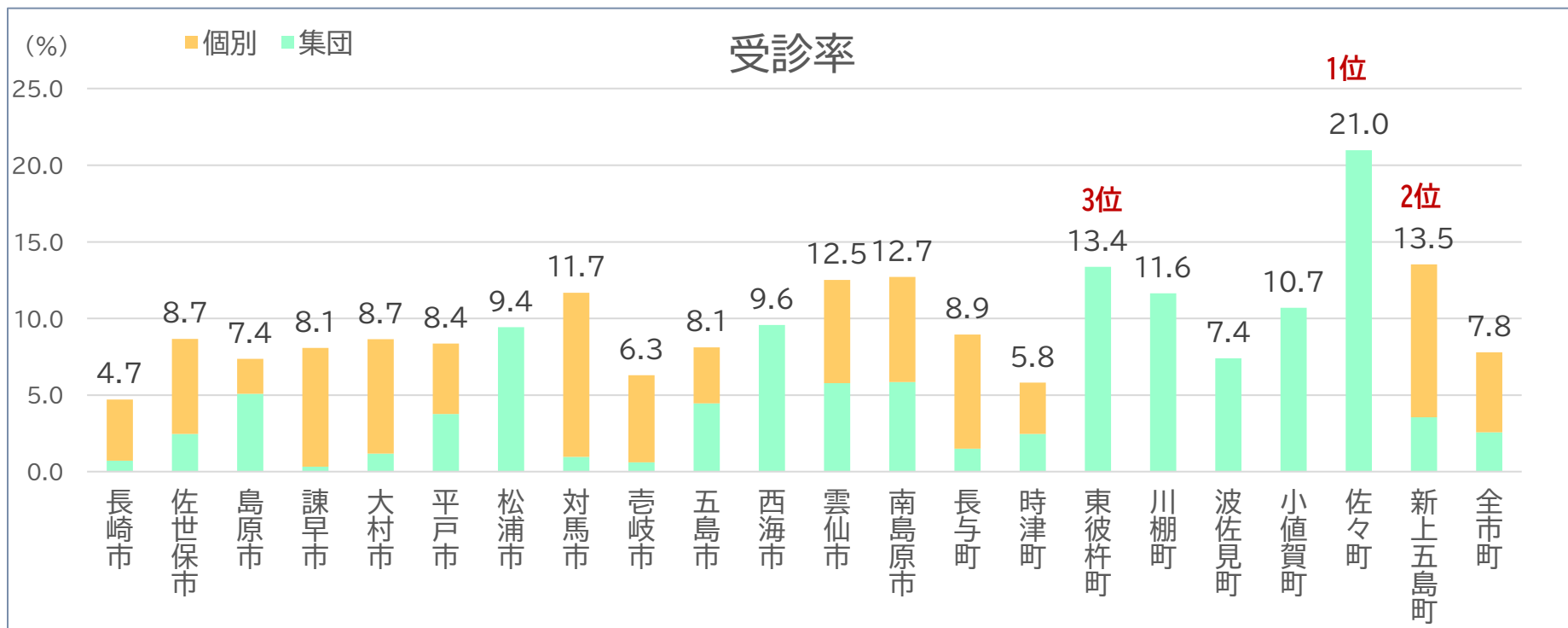
●低い場合に考えられる原因

・受診勧奨が不十分

・市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。

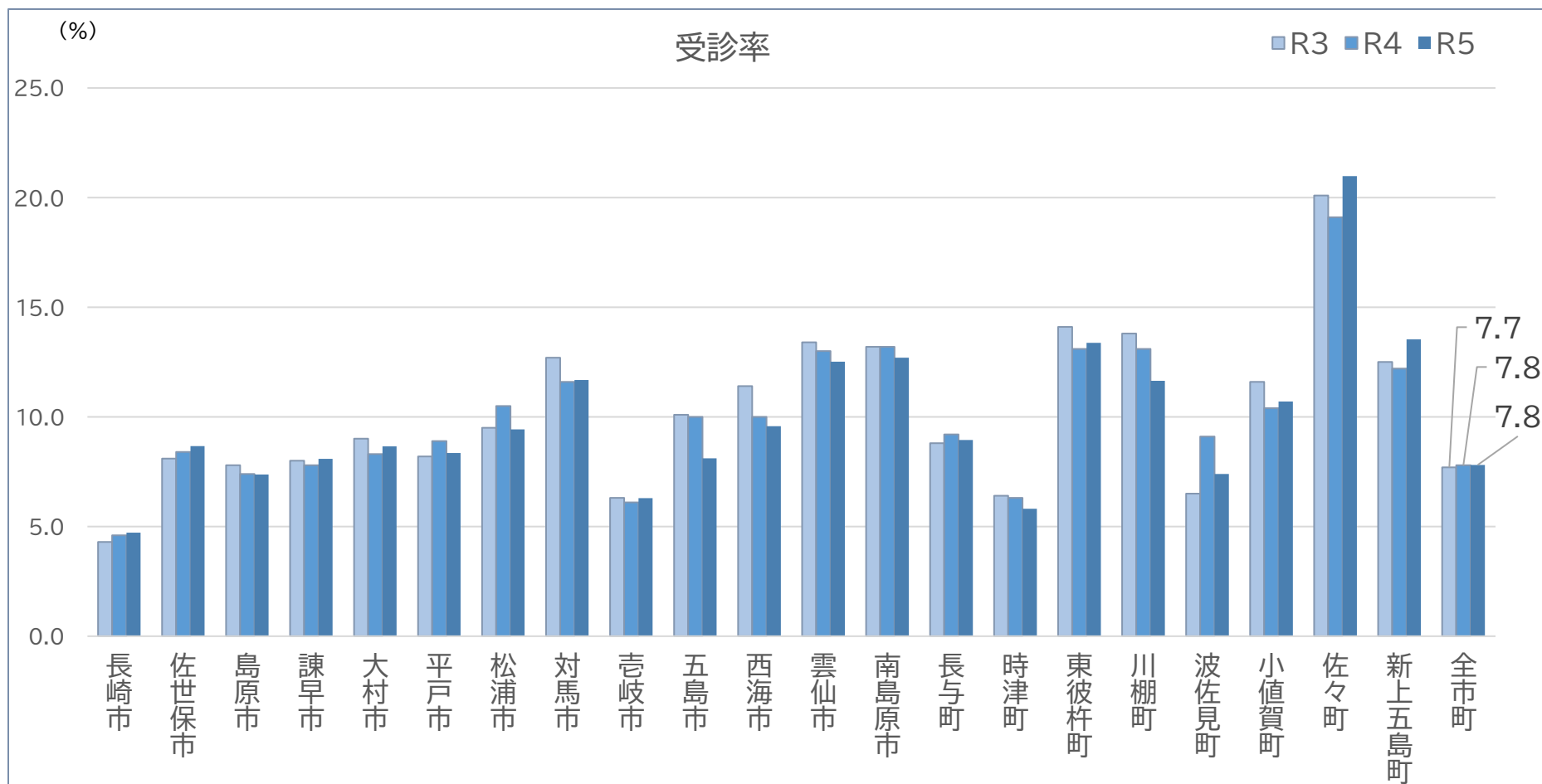
・職域における受診者数は含まれていないことから、
単純に比較することはできない。

・県全体として目標値を満たしていない。



2) 年度別市町別受診率

●前年度より増加した市町(10):長崎市・佐世保市・諫早市・大村市・対馬市・壱岐市・東彼杵町・小値賀町・佐々町・新上五島町



3) 令和4年度要精検率

・要精検者数／検診受診者数

・目的:精密検査の対象者が適切に選ばれているか

・基準値:2.0%以下[40-69歳、1年間隔]

●高い場合に考えられる原因

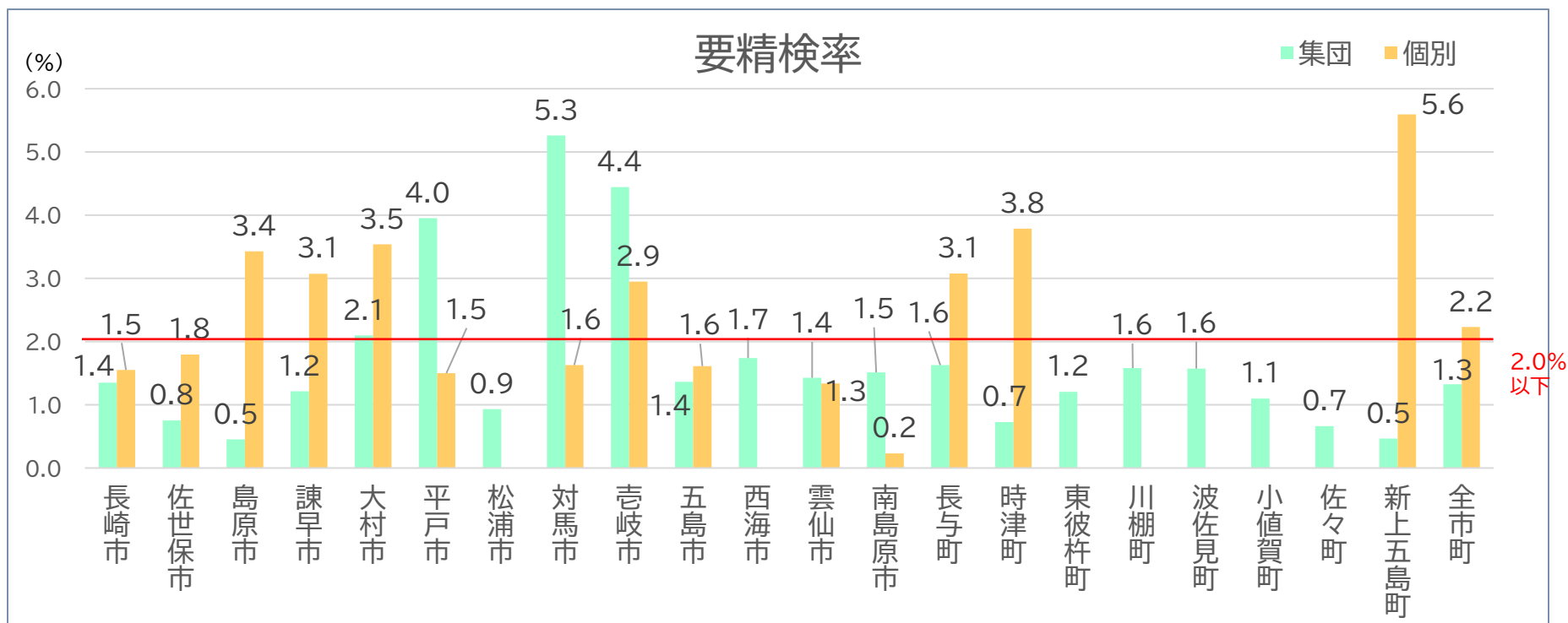
・要精検者の計上は適切か。

・撮影や読影の精度管理に問題の可能性がある。

・有症状者が、がん検診を受診していないか。

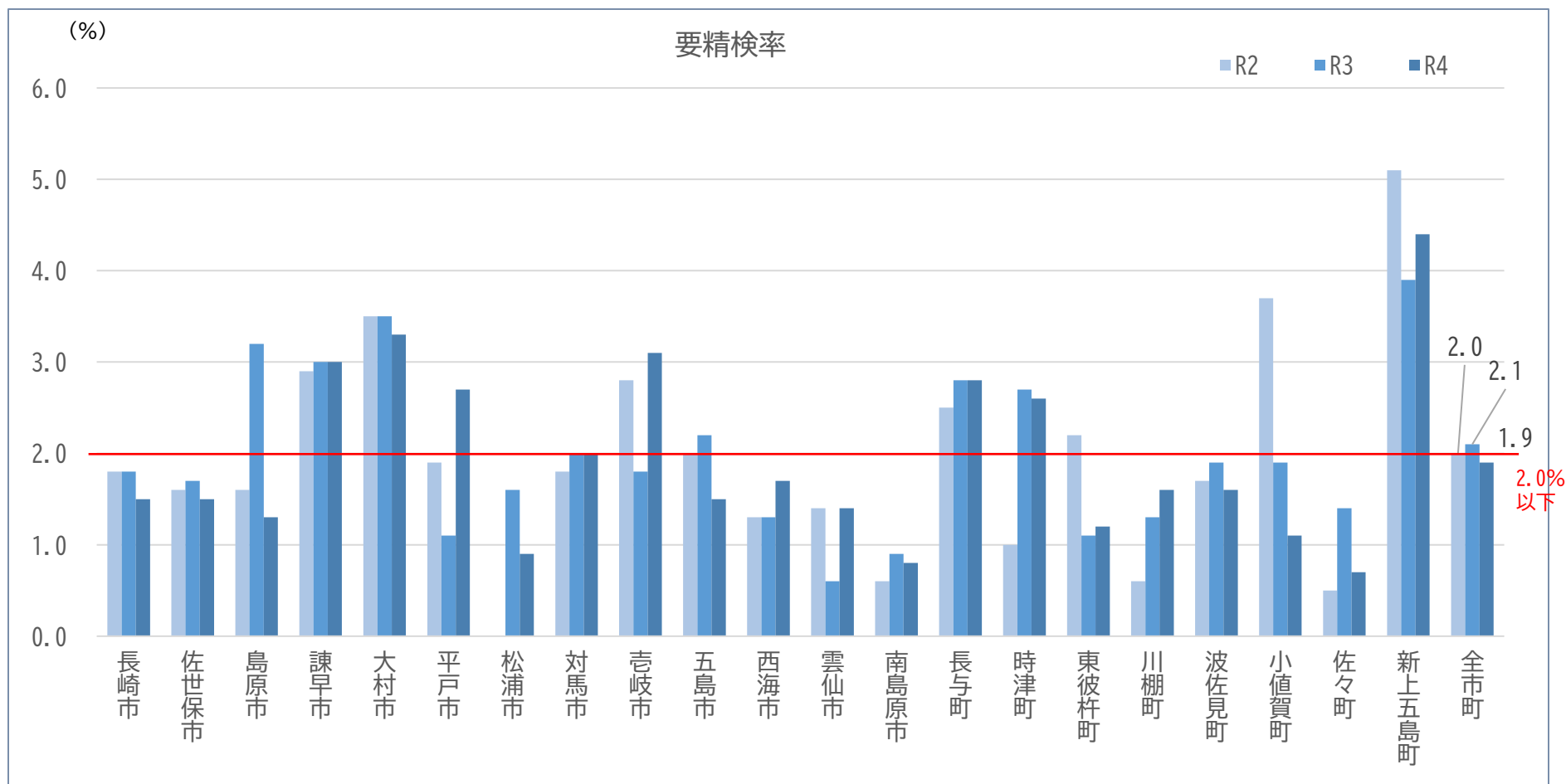
・各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。

県全体では、集団は満たしているが、個別は満たしていない。



4) 年度別市町別要精検率

●3年連続 2.0%以下の市町(9)：長崎市・佐世保市・対馬市・西海市・雲仙市・南島原市・川棚町・波佐見町・佐々町



5) 令和4年度精検受診率

・精検受診者数／要精検者数

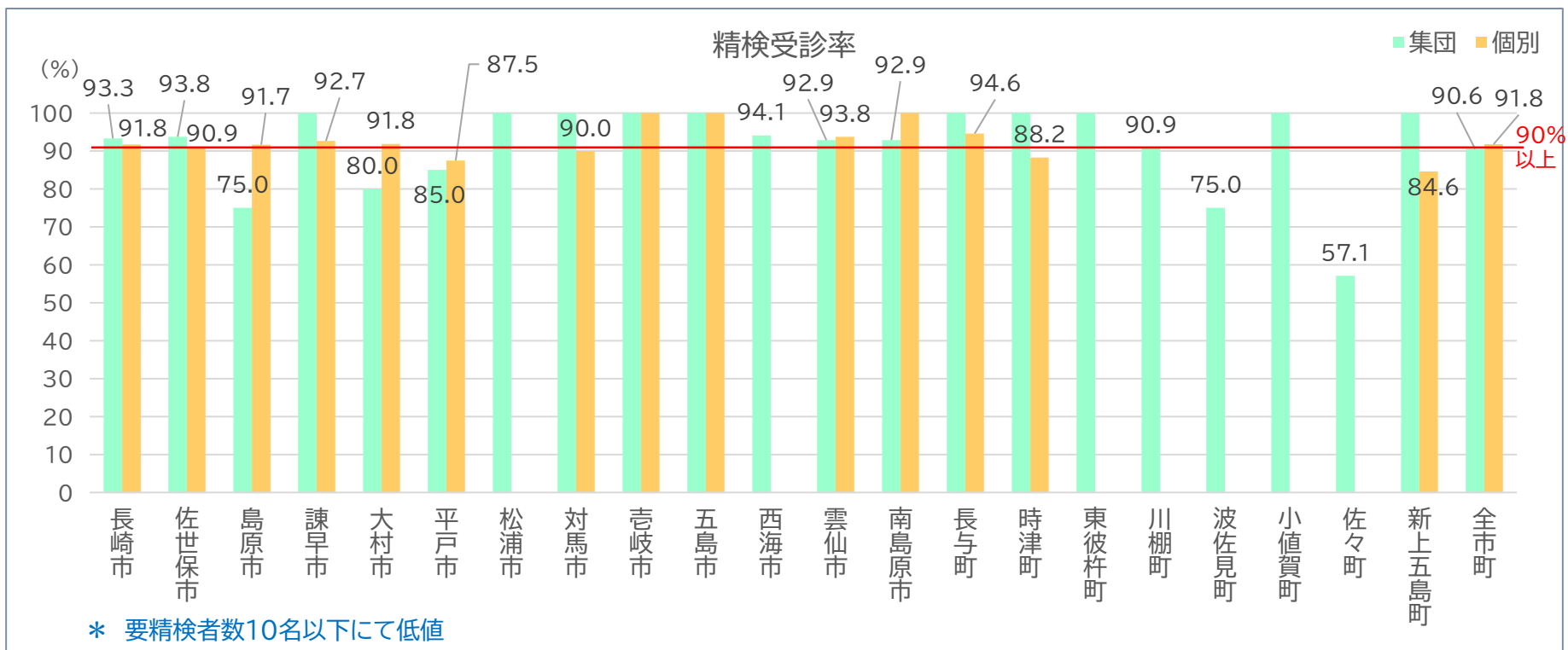
・目的：要精検者が精密検査を受診したか
 ・高いほど良い。（精検受診率が100%近くなければ、
 発見率を正しく評価できない）

・基準値： 90%以上〔40-69歳、1年間隔〕

●低い場合に考えられる原因

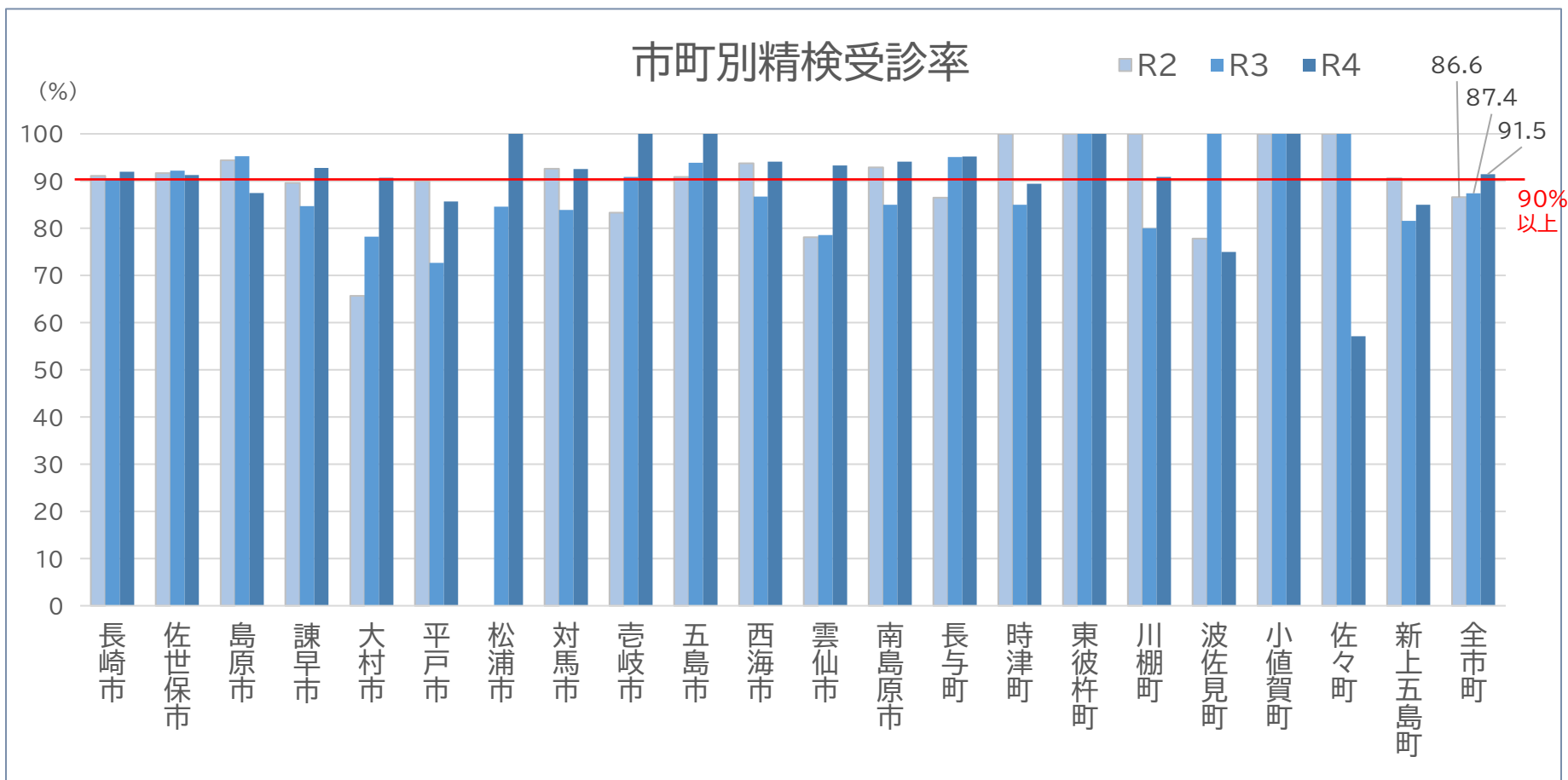
・精検の受診勧奨が不十分。
 ・精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

・市町によりばらつきがある。
 県全体として、集団も個別も基準値は満たしている。



6) 年度別精検受診率

- 3年連続90%以上の市町(5):長崎市・佐世保市・五島市・東彼杵町・小値賀町
- R4年100%の市町(5):松浦市・壱岐市・五島市・東彼杵町・小値賀町
- R4年70%以下の市町(1):佐々町



7) 令和4年度陽性反応適中度

・がんであった方の数／要精検者数

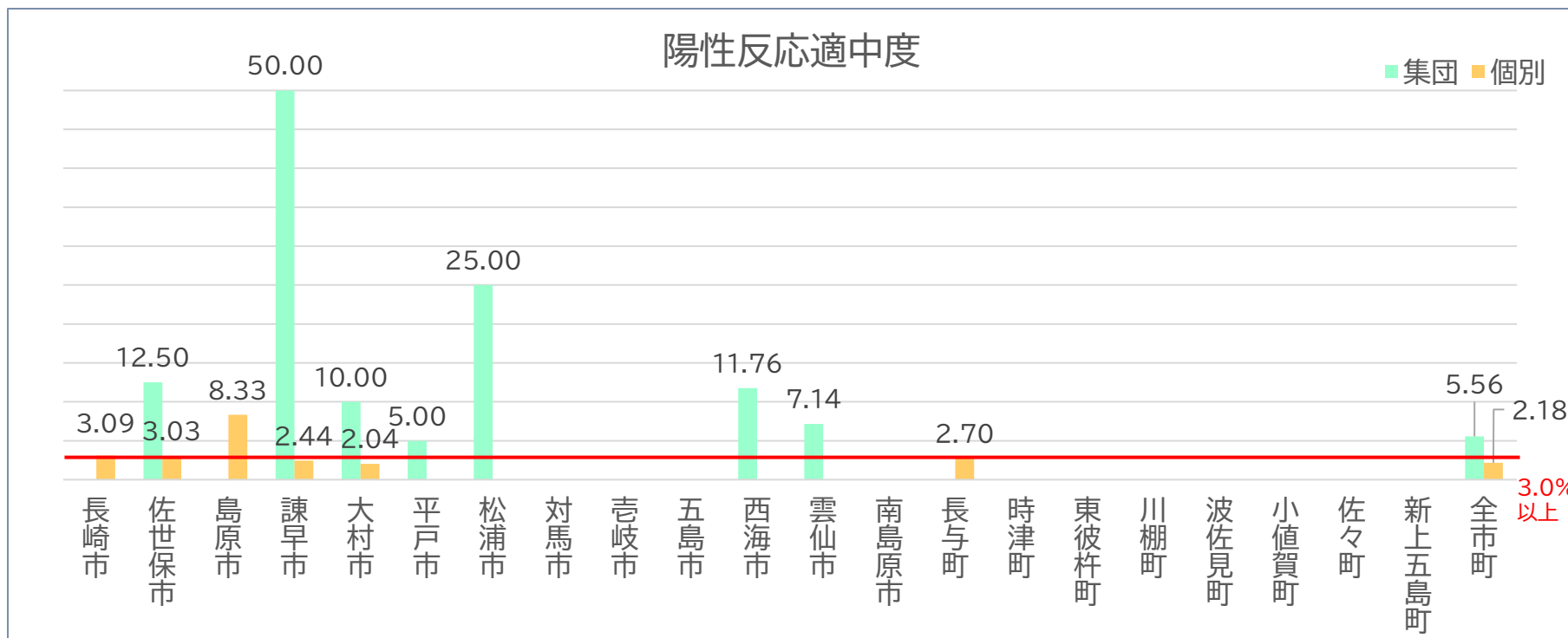
・目的: 検診で効率よくがんを発見されたかを測る

・基準値: 3.0%以上〔40-69歳、1年間隔〕

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別は満たしていない。

・肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。



8) 令和4年度がん発見率

・がんであった方の数／検診受診者数

・目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか

・基準値: 0.06%以上〔40-69歳、1年間隔〕

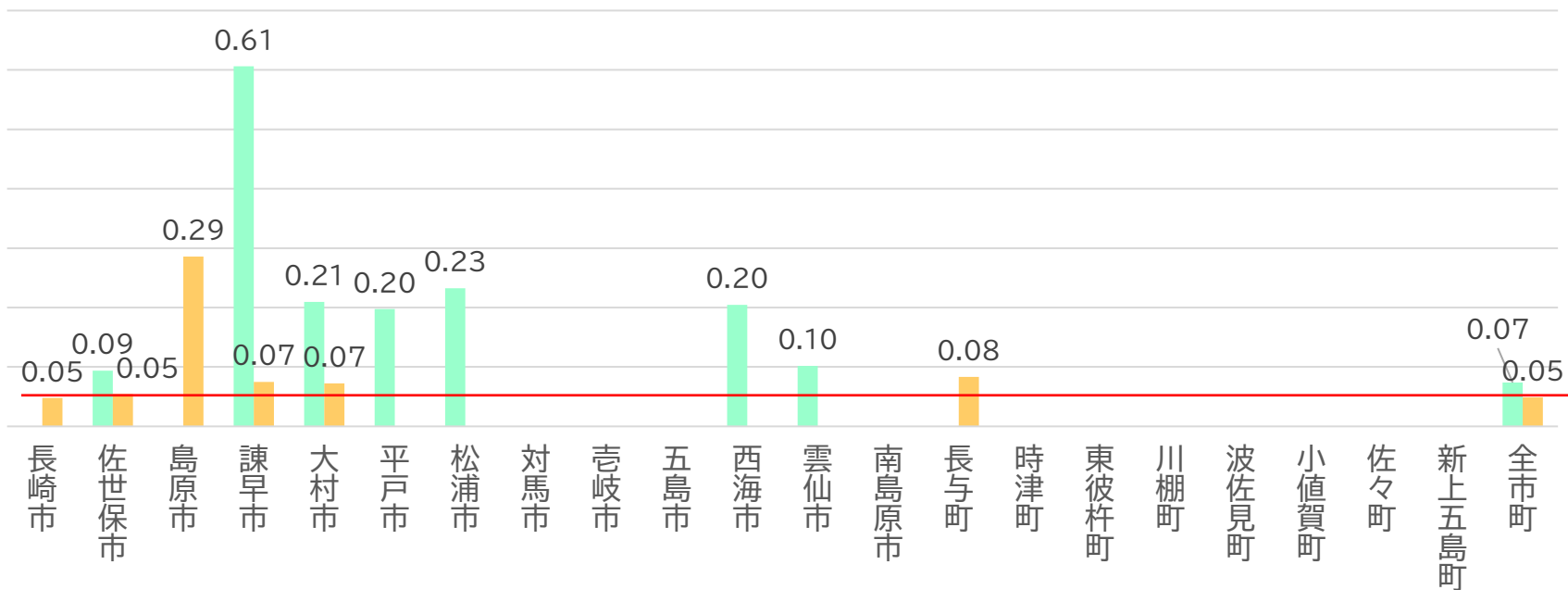
・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別検診は満たしていない。

・肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。

がん発見率(%)

■ 集団 ■ 個別



0.06%
以上

9) 令和4年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時もしくは検診後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	…	…	-	-	…	…	-	-
	女	…	…	-	-	…	…	-	-
	合計	…	…	-	-	…	…	-	-
個別	男	…	…	-	-	…	…	-	-
	女	…	…	-	-	…	…	-	-
	合計	…	…	-	-	…	…	-	-
合計	男	…	…	-	-	…	…	-	-
	女	…	…	-	-	…	…	-	-
	合計	…	…	-	-	…	…	-	-

【精密検査時もしくは精密検査後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	3	…	-	-	…	…	-	-
	女	3	…	-	-	…	…	-	-
	合計	6	…	-	-	…	…	-	-
個別	男	3	…	-	-	…	…	-	-
	女	4	…	-	-	…	…	-	-
	合計	7	…	-	-	…	…	-	-
合計	男	6	…	-	-	…	…	-	-
	女	7	…	-	-	…	…	-	-
	合計	13	…	-	-	…	…	-	-

6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率で目標値を満たしている市町はなかった。長崎県7.8%で、全国11位。精検受診率は、市町によりばらつきがあるが、県全体としては、集団も個別も基準値は満たしている。
さらに向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの情報を、市町が確実に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。
県全体として、集団は基準値を満たしているが、個別は満たしていない。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
陽性反応適中度・がん発見率は、県全体では、集団は基準値を満たしているが、個別検診は満たしていない。
また、70歳以上での発見数が多く、40～69歳の集計には反映されていない肺がんが多くある。